

活動報告・情報交換 など

出席メンバーの勉強や活動を含む、近況報告をしてもらいました

- ・ **特別勉強会** 12/15に『うつに対する感情焦点化療法（EFT）の理論と実際』の特別勉強会を行います！（13:30～：忘年会の前です）DVDで実際のセッションの様子を見て勉強します。なかなかない機会ですので、ぜひご参加ください！
- ・ **NCK忘年会** 特別勉強会の後は、毎年恒例！NCKの忘年会を行います。恒例のプレゼント交換もありますよ。どちらだけのご参加もOKです。ぜひご参加ください！（出欠入力はこちらで → <https://chouseisan.com/s?h=1eabeccd52f940f8b4c4d3801df13e43>）
- ・ **ボランティア活動** 12/1（土）にNCKからボランティア活動に行きました。今回の訪問先はおなじみの「なのはなカフェ」と「なのはなデイサービスセンター」。ゲスト参加（大迫さん）や石井さんのマジック披露もありましたよ！
- ・ **その他、情報交換や近況など**



※ この内容は会員の個人的な活動を含むためHP掲載版では割愛させていただきます。

今後の予定

次回以降の予定です。ぜひご参加を !!

※ 毎月第2木曜・第4火曜日はNCKの勉強会です！

年間スケジュールはこちらに載ってます → <http://www.nihonbashi-counseling.org/>

12月13日（木） 19:00～21:00 テーマ：カウンセリング実習
 (19:30までに入ればポイントがつきます) 場所：人形町区民館 4号室

12月15日（土） 13:30～17:00 特別勉強会 『うつに対する感情焦点化療法』 場所：堀留町区民館 1号室
 18:00～21:00 NCK忘年会 場所：東京プリンスホテル カラオケルーム「ペトリア」

1月15日（火） 19:00～21:00 テーマ：家族療法についての勉強会（ゲスト講師：野々宮基子先生）
 (19:30までに入ればポイントがつきます) 場所：人形町区民館 2号室

場所詳細： 人形町区民館 <http://mappage.jp/S/S04.php?L=12&X=2.4397608735314&Y=0.62275808064978>

NCKへのお問い合わせは → <http://www.nihonbashi-counseling.org/%E3%81%8A%E5%95%8F%E5%90%88%E3%82%8F%E3%81%9B/>

今回は『カウンセリング・ケーススタディ』の第5回でした。まず、高橋先生から「見立て」についてのアドバイスを頂きました。

CLが訴える主訴とは別に(または主訴の中に含まれる)、CLの身体的側面、心理的側面、背景にある文化や社会的な影響、経済的なことなどもCL像をとらえるために必要だというお話で、『産業カウンセリング実務必携』という本が参考になるのでおすすめです。



ファシリテーター 大井さん



グループごとに発表しているところです

次に事例検討です。『そうだ！相談に行こう(2013年版)』を使っの事例検討を行いました。今回取り上げたのは事例5の『外国人留学生の支援に求められる対応事例』(p. 44~)です。このCLは外国人留学生で、COは日本語学校の教師であり、学生相談を兼務しているという事例です。面接の記録は3回あるのですが、「初回は授業後に声をかけて15分ほど話を聞いた」とあり、正式なカウンセリングという感じではないのかもしれませんが、CLが抱えている問題は「職場で暴力を受けている」という深刻なものでした。

下が第1~2回面接についての意見です。職場での暴力を受けているCLに対して、COが支援できていない(聞くだけになっていた)うちにCLが職場から失踪するという問題が起こったという事例ですが、COがもっと積極的に介入すべきだったのでは?という意見や、それができなかったのはCOの立場、立ち位置が弱かったのでは?といった意見がありました。

初回について

- ・事情・状況をもとに確認した方が、弱い立場の人に対する人権侵害。
- ・「警察ごたにならずに帰国させられる」ということで、それ以上いってない →
- ・このCOは男性?女性? 女性かな。
- ・「私に何かできることがありますか」とに対して、COではなく哲学部に相談してる。(COが頼りにならない?)
- ・そもそもCOはどのような立場? 教員の方が主業務かな?
- ・CLの中で、COの立ち位置がわからない。教員が少し相談にのってるだけと思われる?
- ・組織としての連絡網など不明確。

2回目について

- ・「担当者」という言葉が何度も出てくるが... 同じ人なのかどうかもわからない。まため方よくない。
- ・COさんはどの段階で逃げたことを決意したのか? いろいろ考えさせる。
- ・また聞きの話多く、関係希薄。そのあとにはちゃんとがんばってる。COに罪悪感あったのかな?
- ・もっと積極的に介入してもいいのでは?
- ・関係が希薄だし、COもよこ引してる。自分の立ち位置があいまいだから?
- ・担当者があつて「もういいです」という意味かも? と思ったのはいい理解。もっと早く本はよかった。
- ・1回めの後、2回めの日時を決めてないのはよくない...
- ・COさん担当者に会うってために電話をすませた。理由があるのでは?
- ・「職場放棄」ではなく、「緊急避難」と見るべきでは。
- ・COが組織を重くかすべきだったのでは?

右が3回目の面接についての意見です。この組織としての役割分担ができていないことや、職場でのいじめや暴力を我慢しているCLに、「我慢しないでいい」ということを伝えるべきだといった指摘がありました。

全体に、「カウンセラーによるカウンセリング」というよりも、「教師が少し話を聴いている」という状況に近かったのかもしれませんが。

この事例に関連して、大井さんから外国人留学生や日本語学校についての問題を取り上げた記事の紹介がありました。

また、大井さんが用意してくれた事例検討のポイントの参考資料もありますので添付します。

今回はカウンセリングとしてはいい事例ではなかったかもしれませんが、背景まで含めるといろいろ考えさせられました。

3回目について

- ・COさんがいじめや暴力はガマンできない。と言ったところ、そこはガマンすべきところではない、と言わないと。COはどのようなが当たり前の世代? 背景としてどうい問題頻発してる?
- ・Dさんもヤバイ状況なのに何もしてないのはまずい。
- ・このCOは「ガマン」を美化しすぎ。
- ・一見やさしそうな言葉もかけているが表面的。COとしてかかわれないのでは。
- ・そもそも「カウンセリング」と呼べるものではないのか? 環境的に難しかったの?
- ・このCOは新人か? もう少し専門的にかかわれないか?
- ・「私は何も出来なかなあ...」って言ってもいいの? 今後も助けられなそうにとSする?
- ・「いじめや暴力はがまんしないでいい」ということを伝えたい?
- ・「話を聞かせてください」はどういう意図? 興味? 罪悪感? COさんもDさんも相談にこないのでは?
- ・組織としての役割分担ができてないのが最大の問題。
- ・「週28時間以内」とか最低賃金とか守ってるのかな?

編集後記

会報作成担当のコメント・つぶやき... などなど

今回はカウンセリングの事例としてはちょっと微妙な感じでしたが、実際に外国人留学生や外国人労働者の相談を受けると考えてみると、いろいろ考えさせられますね。この事例の場合も、COの言い方だけで「日本の職場では暴力が当たり前」と思われてしまうかも...。文化的背景が違うからこそ、はっきり言わないといけないこともあるんですね。【水口】